

事業名称	新たな基幹産業を目指す地域IT産業強靱化事業	事業計画期間	R5-R7年度
事業実施主体	長野県	交付対象事業費 (R6年度)	136,291千円
事業概要	海外人材や都市部高度人材の受入れ等により、県内IT企業のスキル向上や人材不足の解消、受託型から開発型への転換を図るとともに、非製造業を中心としたDX推進により新規ITサービスを創出し、あらゆる産業の稼ぐ産業への進化を図る		
具体的使途 (経費内訳はR6 年度事業費)	<p>○コンソーシアムを活用したITビジネス創出支援、ITデータベースによるビジネス創出 (85,058千円) (1) アイデアソン等を通じたITビジネス機会の創出やマッチング支援等 (委託料) 35,058千円 県内IT企業が有するソリューションや得意領域等のデータベースを活用し、BtoBビジネスの創出につながる体制を整え、県内IT産業の開発力向上に資する取組展開や情報発信を行う。 (2) ITシステム開発支援 (補助金) 50,000千円 産学官連携コンソーシアムを活用して取り組む共創による革新的なITシステム開発を支援する。</p> <p>○データサイエンスの考え方を導入したソリューション提案 (11,128千円) (1) 課題解決経費 (研究費) 5,329千円 県内IT企業を含む中小企業等の参加する研究会の中からモデルプロジェクトの取組企業を探索・選定し、製品・サービスの開発等で生じる課題の解決を支援する。 (2) 外部専門家や外部機関との連携 (謝金、委託料等) 5,799千円 高度な知見が必要な支援要請に対し、外部専門家等と協働して対応する。</p> <p>○リゾートテレワークを端緒としたIT人材の関係人口化推進 (20,495千円) (1) 人材と地域企業の交流やワークショップの企画・運営等 (委託料等) 20,495千円 「信州リゾートテレワーク」に関するエキスポの開催等により都市圏企業や経済団体にPRし、地域と都市部人材等との交流の場を創出するとともに、受入市町村・民間企業で構成する推進チームを運営し、地域企業に効果のある受け入れ策の研究・研鑽の場を設ける。</p> <p>○トップDX (デジタルトランスフォーメーション) 人材地域コミュニティ創出 (8,700千円) (1) ワークショップ等の企画・運営 (委託料) 8,700千円 県内外のトップDX人材を講師に迎えたワークショップ等を開催、県内IT企業従事者等の高度ITスキル習得を図るほか、トップDX人材に県内IT企業とのコラボ・就業等を働き掛ける。</p> <p>○外国人材受入企業のサポート (9,240千円) (1) サポート窓口の運営等 (委託料) 9,240千円 外国人材受入希望企業向け相談窓口の運営やセミナーの開催に加え、実際に高度ITスキルを有する外国人材を活用する企業を交えた事例検討会の実施・好事例の発信を行う。</p> <p>○外国人留学生の就職促進支援 (1,670千円) (1) 就職促進コンソーシアム経費 (負担金) 1,670千円 外国人留学生と企業の出会いの場となる企業説明会、マッチングイベント等の開催や、「留学生受け入れモデル事業」発信のための企業向けセミナーを開催する。</p>		
実施体制			